

広小路南界限スマホdeまちあるき 見どころマップ



● 電気・ガス・通信コース

■ メモリアル&パブリックアートコース



チェックポイント



★ パワースポットコース



▲ 立派な建物コース



トイレ



チェックポイント

- スマートフォンをお持ちの方は、下記の4カ所でナビのスタンプを取得してください。
- スマートフォンをお持ちでない方は、下記の4カ所で写真を撮影してください。
- いずれも普通に見学できる場所にあります。



① 栄ガスビル
(ガス灯)



② 御園のタブノキ
(タブノキ)



③ 伏見ライフプラザ
(三英傑壁画)



④ 澤田商店
(建物)

見どころ案内

電気・ガス・通信コース

明治時代に創業し、名古屋に電気やガスを供給したゆかりの場所が点在しています。名古屋の発展とともに、往時に思いをはせていただけるコースです。

● 電気文化会館(中部地方電気事業発祥の地)

中部電力株式会社の前身である名古屋電燈会社の石炭火力発電所(発電機ドイツ製、出力25キロワット×4台)があった場所です。明治22年(1889)12月15日、この発電所でおこされた電気が初めて名古屋市内に送られました。当時の電灯の数は約400灯、電柱数は391本、配電線路の延長は約15,000メートルでした。現在は電気文化会館が建っており、でんきの科学館やザ・コンサートホール、イベントホール、ギャラリー等の文化施設として地域の方々に親しまれています。

● 名古屋通信発祥之地

明治21年(1888)、この地に東海地方の郵便電信電話電気などの通信業務をまとめて管掌した名古屋郵便電信局が建てられました。建物は明治調の洋風で、正面の大時計は広小路通の名物として長く市民から親しまれましたが、昭和20年(1945)1月の空襲で焼失してしまいました。

● 栄ガスビル(東邦ガス本社跡地)

名古屋瓦斯は明治39年(1906)に設立され、翌明治40年に開業しました。名古屋瓦斯は、大正11年(1922)に関西電気と合併し東邦ガスが設立され、この場所に本社が置かれました。その後本社は桜田町に移されることになり、この場所には同社の営業所が置かれることになりました。現在は栄ガスビルが建っており、地下に通じる階段に設置されているガス灯は現在もガスにより点灯されています。

● 大津通電気ビル(中部電力本店跡地)

昭和26年(1951)5月1日設立された中部電力株式会社は、昭和38年4月に東区(現在:名古屋市中区東新町1番地)に移転するまで、12年間にわたって事業経営の拠点となる本店をこの場所に置き、エネルギーの供給を通じて中部経済圏の発展につとめてきました。現在は、大津通電気ビルが建っており、地下に変電所が設置されています。

パワースポットコース

この地区には、江戸時代以前に創建された寺社が数多くあります。由緒ある寺社、パワースポットを巡るコースです。

★ 御園のタブノキ

推定樹齢約250年を超えるクスノキで、地上約4メートルの所で二幹に分かれ、それぞれ枝葉をひろげ、横広型に変形し、樹高は約10メートルです。戦災で損傷を受けながらも緑がよみがえり、現在も信仰の続く古木になっていると言われている。

★ 永林寺

広白山永林寺と称し、曹洞宗の熱田全隆寺の末寺です。もともとは中区仲ノ町一丁目(現在の錦一丁目)にありましたが、明治年間に今の地に移りました。また、尾張名陽図会によると、広井に大きな山があり、そこに薬師仏が祀られました。清洲城にいた信長にのろしを上げて名古屋の様子を知らせていたことから山の薬師といわれています。秘宝として、不動尊が伝わっています。

★ 洲崎神社

貞観(じょうがん)年間(859～877)の創建といわれ、同社の文書には洲崎神社はその昔出雲の国の稲田宮の神をこの地に移して創建されたとあります。明治以前、この神社は、廣井天王、牛頭天王社、天王崎神社ともいい、昔は海に面した洲崎に鎮座していた社といわれていました。祭神は、中央に須佐之男命(すさのおのみこと)、左に五男三女神(ごなんさんによしん)、右は稲田姫命(いなだひめのみこと)であり、のちに布都御魂命(ふつのみたまのみこと)も祀られました。この神社の和鏡は、市指定の文化財となっています。

★ 若宮八幡社

祭神は仁徳天皇、応神天皇、竹内宿禰命(たけのうちすくねのみこと)を祀っています。文武天皇の時代(697～707)に那古野庄今市場に創建、延喜年間(901～923)に再興しました。慶長15年(1610)徳川家康は名古屋城築城にあたり、現在の地に移して尾張名古屋の総鎮守としました。例祭(若宮まつり:5月16日)では、山車1両福祿寿車(ふくろくじゅしゃ)と神輿が、那古野神社との間を往復します。福祿寿車は、名古屋市指定有形民俗文化財となっています。

★ 勝鬘寺(しょうまんじ)

寂光山勝鬘寺と称し、真宗大谷派の寺院です。天正年間(1573～1592)に清須に創建され、清須越しにより堀川の東に移されました。寛永9年(1632)には成瀬正虎が尾張藩祖義直からこの地を拝領し、現在に至っています。境内東北角には入母屋造の大屋根の上に同じ造りの重層をあげ、太鼓を備えた鼓楼があり、明治を迎えるまでは太鼓を打って時を知らせていたそうです。山門、本堂、太鼓楼は名古屋市指定文化財で、これらに鐘楼を加え名古屋市都市景観重要建築物に指定されています。

メモリアル&パブリックアートコース

経済、文化、交流の拠点となっているこの地区には、パブリックアートが数多く設置されています。都心の緑豊かな公園や通りを散策しながらアートを楽しんでいただけるコースです。

◆ アムナットスクエア メモリアルアート

名古屋市姉妹友好都市4都市の著名作家による彫刻像がアムナットスクエアの中2階にあるオープンスペースに置かれています。「家族 絆」(ロサンゼルス)はチャーナ・リッキー、「3原素」空・水・土(メキシコ)はファン・クルス、「吉祥天女」(南京)は朱至耀、デコ女神(シドニー)はフィリス・コシュランドの作品です。また、広小路通沿いには、彫刻家の作品やノーベル受賞者の手形など多くのパブリックアートが設置されています。

◆ からくり 白浪五人男

日本初の台詞付きからくりで、現在改築中の御園座南西角の御園通に設置されています。歌舞伎の代表作「稲瀬川勢揃い」の一場面を再現しています。昭和4年(1929)に収録された当時の名優による名台詞を聞くことができます。

※御園座は現在休止中です。

上演時間: 10:00 12:00 13:00 15:00 17:00

◆ 伏見ライフプラザ 三英傑壁画

中消防署をはじめ高年大学鯉城学園や環境学習センターなどの施設を有する14階建の高層ビル、伏見ライフプラザの公開空地にある壁画です。平成7年10月に同ビルの竣工を記念して描かれた壁画です。織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の三英傑と鎧武者や 足軽隊などの堂々とした隊列の行進が描かれています。

◆ 白川公園 パブリックアート

中央に広場と噴水があり、そのまわりをケヤキ並木に囲われ季節を楽しめる白川公園には美術館や科学館があり、平成7年からバリーフラガナン「ボールをつかむ爪の上の野兎」や今井瑾郎「イメージウォール円・景」など5作品により彫刻の道が整備されました。緑を楽しみながら彫刻作品を身近に楽しむことができます。

◆ 若宮大通公園 パブリックアート

100メートル道路の一つ、若宮大通にある公園には、多田美波「時空 '88」や久野利博「アンタイトル1988」など大型の抽象オブジェが点在しています。水や緑の自然の中にパブリックアートが設置されていて、誰もが気軽に芸術と触れ合うことができます。

◆ 三英傑からくり人形時計塔

若宮大通公園(矢場町交差点西、高速道路高架下)の矢場噴水のそばに設置されています。名古屋ゆかりの三英傑、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康が身長60から80センチメートルの人形になって登場します。人形は八代目玉屋庄兵衛の遺作の一つです。

上演時間: 12:00 15:00 18:00 20:00

◆ 久屋大通公園 パブリックアート

若宮大通と同様、100メートル道路の久屋大通にあり、都心を南北に貫く久屋大通公園には「盲導犬サーブの像」、「愛・5人像」や「ベンチに座っている銅像」など様々なパブリックアートが点在しています。散策しながらゆっくり鑑賞することができます。

◆ 丸栄西側壁画

丸栄は慶長20年(1615)創業の老舗で、栄の百貨店のひとつです。現在の建物は、建築家村野藤吾の設計によって昭和28年(1953)に建てられ、同年建築学会賞を受賞しています。広小路通に向けた北側ファサードは、縦型の格子状になっており、角を曲がった西側の壁面には大きなモザイク壁画があります。

立派な建物コース

登録有形文化財などの明治から昭和に建てられた建物や建造物の建築様式とその歴史的背景を楽しむことができるコースです。

▲ 旧加藤商会ビル

昭和6年(1931)頃に貿易商を営む加藤商会の本社ビルとして建てられました。戦前は建物内にシャム国(現在のタイ王国)の領事館が置かれていたこともあります。その後、所有者が変わり、事務所や倉庫として使われたり、ビル全体が広告塔となっていたこともあります。平成12年(2000)に名古屋市の所有となり、平成13年4月に国の登録有形文化財となりました。テラコッタ(柱頭飾り)、外壁のレンガ調タイルやレリーフ模様が特徴的です。地下1階には、堀川的环境・歴史・文化に関する情報等の集積や展示を行うための堀川ギャラリーがあります。

▲ 納屋橋

名古屋城の築城の際、堀川が開削されたときに架けられた橋で、付近の地名をとってこの名が付けられたと言われています。その後、幾度か架け替えられ、大正2年(1913)に鋼製のアーチ橋に改築されました。欄干の中央には堀川開削の総奉行・福島正則の紋所があり、両脇には郷土の三英傑である織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の紋所が飾られています。

▲ 澤田商店

戦前から続く老舗の水屋さんで、昭和24年(1949)築の建物です。店頭上部の看板は戦前に作られたものだそうです。内部も昔のつくりで、土間に縁台が置かれています。

▲ みその亭

宮大工が建てた旅館を改装した、木造2階建ての老舗です。昭和25年(1950)に美そ乃旅館として創業しました。もともとプロ野球ドラゴンズの選手寮だったこともあり、読売ジャイアンツの名古屋における定宿となっていました。現在は、日本料理店となっています。

▲ 名古屋市科学館

白川公園にあり、子どもから大人まで楽しみながら科学に触れることができる総合科学館です。昭和37年(1962)に天文館、昭和39年に平成23年11月に、平成元年に生命館を開館しましたが、平成23年3月に理工館と天文館がリニューアルオープンし、11月には屋外展示ひろばを含めグランドオープンしました。世界最大のプラネタリウムがある巨大な球体は直径39.2メートルで地上約11メートルの高さで浮いているような意匠が特徴的です。内径35メートルのプラネタリウムBrother Earthは同年12月に、ギネス世界記録に認定されました。

▲ 名古屋市美術館

白川公園の中に建っており、愛知県出身の黒川紀章の設計です。随所に日本の伝統的手法と色彩が盛り込まれており、西欧と日本の文化、歴史と未来の共生がこの建築の主要なテーマとなっています。内部のドア枠、窓には、西欧の建築様式や江戸の天文図等が引用され、同様に屋外にも木曽川の風景、名古屋城の石垣など、物語性をつくりだすための記号が配置されています。また、当館のコレクションは、エコール・ド・パリ、メキシコ・ルネサンス、郷土の美術、現代の美術という4つの部門で構成されており、現在5,800点あまりの作品が所蔵されています。

▲ 安藤七宝店 七宝蔵部

安藤七宝店は、明治13年(1880)尾張七宝の元祖梶常吉の孫佐太郎を工場長とし、村田屋重兵衛が玉屋町にて創業しました。明治37年現在地に本店、工場を新築し移転しました。この蔵は大正7年(1918)に建築され、昭和20年(1945)大空襲にて建物、商品が焼失しましたが、蔵のみ焼け残りました。平成元年に工場を御器所に統一し、平成14年10月に名古屋クロイゾンスクエアの北側部分に本店店舗を建て替え、蔵は保存改修され、尾張七宝を伝える展示施設として活用されています。

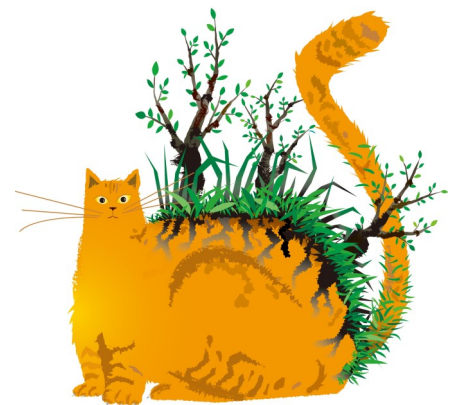
▲ 料亭 蔦茂(つたも)

大正2年(1913)に割烹旅館として創業したのが始まりの老舗料亭です。昭和20年(1945)3月、名古屋大空襲によって全焼してしまいましたが、昭和22年4月に、黒塀に数奇屋造りの料理旅館蔦茂を新築しました。現在は、旅館業から撤退し、料亭専業となっています。17世紀の清須越し当時からある井戸が残されています。

▲ 三越屋上観覧車

昭和29年(1954)5月に当時のオリエンタル中村百貨店(現名古屋三越)の屋上遊園地に、日本で最初の屋上観覧車が設置されました。現存する観覧車は、昭和31年12月の増床工事完成時に設置された2代目で、鉄骨造で高さは12メートル、脚間は6.2メートルの現存する屋上観覧車としては、日本国内最古のものです。平成17年7月20日に営業運転を終了しましたが、平成19年には、文化庁により登録有形文化財として登録されました。現在は乗車することはできませんが、毎週日曜日及び祝日の正午と午後3時に運転をしています。

▲ 勝鬨寺(しょうまんじ) (★ 前述)



【問合せ】

名古屋市中区役所企画経理室

〒460-8447 名古屋市中区栄四丁目1番8号

電話052(265)2309 ファクス052(261)0535

開庁時間 月曜日～金曜日(休日・祝日・年末年始を除く)

午前8時45分～午後5時15分